

日本上空また通過



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2017

2017年
9月15日
〈金曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

北ミサイル

襟裳岬東2000キロ洋上落下



ミサイル発射を受け、安全確認を行う県危機管理課の職員
＝15日午前7時26分、県庁

政府によると、北朝鮮が日本時間15日午前6時57分ごろ、弾道ミサイル1発を北東方向に発射した。ミサイルは北海道上空を通過し、襟裳岬の東約2千キロの太平洋上に落下した。全国瞬時警報システム（Jアラート）が作動した。日米韓がミサイルの種類などの分析を急いでいる。国連安全保障理事会は11日、北朝鮮による6回目の核実験を受けて、新たな制裁決議を採択。北朝鮮は国際社会の圧力に対抗して核・ミサイル開発を続ける強硬姿勢を鮮明にした。韓国軍によると、ミサイルは首都平壤の順れ、約3700キロ飛行し、最大高度は7700キロ。自衛隊法に基づく破壊措置の実施はなかった。中距離弾道ミサイル「火星12」や大陸間弾道ミサイル（ICBM）搭載「火星14」の可能性がある。北朝鮮による弾道ミサイルは、8月29日に北海道上空を越えて火星12を太平洋に発射して以来。

県緊急登庁し情報収集

Jアラートの速報を受け、県危機管理課の職員は直後に緊急登庁し、情報収集と関係機関との連絡調整に当たった。県庁舎には2人が避難し、山形市教育委員会には児童・生徒に安全、県内に被害や落下物に関する通報がないことを確認した。県内のJR各線は安全確認作業のため、最大14分遅れた。同8時15分から緊急の危機対策本部会議を開き、情報共有と対応を協議した。

購読・試読のお申し込みは▶
フリーダイヤル 0120-81-8040